

とらえ活動をつなぐ  
生きものや自然を  
広い視野から

# South West Mikawa

碧南市、西尾市、高浜市

西三河南部生態系ネットワーク協議会は、2016年(平成28年)2月に設立されました。27団体(2021年(令和3年)4月現在)で、干潟の保全・再生をはじめとして地域の生きものの生息環境の維持などを目的に、生きもの調査や外来種駆除、ビオトープの創出などの活動に取り組んでいます。

協議会テーマ  
きらきら光る<sup>あお</sup>碧い海  
～西三河沿岸が育む  
生きものたちのつながり～



地域の生態系  
干潟、ハマシギ、  
セイタカシギ、ゲンジボタル、  
ヘイケボタル、  
ニホンイシガメ



油ヶ淵 (碧南市)



愛知こどもの国 (西尾市)



一色干潟



干潟観察会



生きものふれあい観察会



外来種駆除活動

干潟や川を中心に自然や生きもの・人をつなぐ

このエリアは広大な<sup>いっしき</sup>一色干潟をはじめ良質な干潟が数多く分布し、底生動物が豊かで、シギ・チドリ類の中継地になっています。また、県内唯一の天然湖沼で、海水と淡水が混じり合った汽水湖である油ヶ淵もあります。

こうした干潟や川等を中心に、西三河南部地域の多様な自然をフィールドとして、企業やNPO、大学、行政等の多様な所属団体が連携し、生きものや人のネットワークをつなぐ活動を展開しています。

地域活性化や、子どもの学び等につながる自然体験イベントを

例年、西尾市の一色干潟にて開催する「干潟の生きもの観察会」では、干潟に住む生物の多様性や干潟の機能等について、一般の参加者が楽しみながら学べる機会を提供しています。

西尾市東幡豆町にある愛知こどもの国は、広大な敷地と豊かな自然を備えた児童総合遊園施設です。愛知こどもの国をフィールドとして、カメや昆虫等の観察会などを行っています。

地域の自然や生物多様性が、将来を担う子ども世代の自然体験や環境学習、ひいては地域の魅力創出につながるような活動を企画・開催しています。

生きもの・自然をテーマに取組をつなぐ

同協議会では、地域の企業・NPO・大学・行政といった多様な主体が連携して活動を展開しており、更に近年では大学生等のユース世代が活動に参加する等、多様な世代の連携もみられます。近年広まっている国連持続可能な開発目標(SDGs)においても、こうしたパートナーシップが重要になります。

地域の自然や生きものを保全し、生態系のネットワークや活動をつなげ、未来に渡すことを目指して、活動を展開していきます。

【構成団体一覧】27団体

<大学等 3>

人間環境大学、愛知学泉大学、西尾市立室場小学校

<企業等 10>

(株)あいや、(株)エムアイシーグループ、(株)オティックス、(株)おとうふ工房いしかわ、山旺建設(株)、七福醸造(株)、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機、日鉄ステンレス(株)衣浦製造所、日東醸造(株)

<NPO等 6>

(NPO)愛知生物調査会、(NPO)フロンティア西尾、西三河自然観察会、西三河野鳥の会、へきなん市民環境会議、渡し場かもめ会

<農林漁業団体 4>

あいち中央農業協同組合、東幡豆漁業協同組合、西三河漁業協同組合、衣崎漁業協同組合

<行政機関 4>

碧南市、西尾市、高浜市、愛知県

<おもな活動>

- ・生きもの調査
- ・自然体験学習活動
- ・外来種駆除活動
- ・フォーラム等による普及啓発